

10月1日から 水痘ワクチン予防接種が定期接種に

予防接種を受け水痘（水ぼうそう）を予防しましょう
水痘は「水ぼうそう」とも言われ、水痘・带状疱疹ウイルスの空気感染・くしゃみやつばなどの飛まつ感染、接触感染により広がります。免疫不全状態の患者や成人で水痘を発症すると重症となり、脳炎を合併することもあります。特に、生後6か月～4歳頃に感染することが多くなりますので、予防接種を受けて予防しましょう。

■対象者・接種回数

対象者	満1歳～3歳の1日前	満3歳～5歳の1日前（※特例措置）
回数・方法	3カ月以上（標準6カ月）の間隔をあけて2回	対象年齢内で平成27年3月31日までに1回
備考	<ul style="list-style-type: none"> 任意接種で1歳以降に1回接種した場合は、残り1回接種 任意接種で1歳以降に3カ月以上の間隔をおいて2回接種した方や水痘（水ぼうそう）にかかったことがある方は対象外 	<ul style="list-style-type: none"> 任意接種で1歳以降に1回接種したことがある方や水痘（水ぼうそう）にかかったことがある方は対象外

※3歳～5歳の1日前までの方については、平成26年10月1日～平成27年3月31日までの接種となります。平成27年度からは生後1歳～3歳の1日前のみの方が対象です。

■接種方法／指定医療機関で個別接種
※指定医療機関は、対象者に送付します個別通知でご確認ください。
※市以外の医療機関で接種を希望される場合は、接種の2週間前までに健康推進課へご連絡ください。

★市へ予約する医療機関の場合、毎月10日～25日9時～17時（土日祝日は除く、翌月からの予約になります。）
☎65-0732へご連絡ください。

■持ち物／母子健康手帳・質問票・保険証等（本人確認ができるもの）
■接種費用／無料

健康推進課 母子保健係
☎65-0736 / ☎63-4591



後期高齢者医療被保険者証をお持ちの方へ
肺炎球菌ワクチン予防接種費用の一部助成は9月30日までです
滋賀県後期高齢者医療被保険者証をお持ちの方を対象に、肺炎球菌ワクチン予防接種の費用を一部（3千円）助成しています。10月1日からは、これまでの任意の予防接種から定期予防接種へと変更されますので、助成は9月30日をもって終了とします。変更後の予防接種料や接種場所など詳細については、10月号の広報あいつかをご覧ください。

○肺炎球菌ワクチン
「肺炎球菌ワクチン」は、肺炎の中でも最も頻度の高い「肺炎球菌」による肺炎を予防するワクチンで、免疫効果は、接種後5年間有効といわれています。

問い合わせ
保険年金課 後期高齢者医療係
☎65-0689 / ☎63-4618

国民健康保険にご加入の40歳～64歳の方へ 集団健診(特定健診)のご案内

左記のとおり集団健診を実施します。4月以降に特定健診を受けておられない方はこの機会にぜひ受診してください。特定健診は無料です。

●実施日／場所
9月30日(火)／土山開発センター
10月2日(木)／甲賀保健センター
10月8日(水)／信楽開発センター
10月9日(木)／水口保健センター
10月15日(水)／甲南保健センター
10月10日(金)
10月28日(火)
11月14日(金)
12月10日(水)
水口社会福祉センター

●対象／国民健康保険にご加入で昭和25年4月1日～昭和50年3月31日に生まれた方
※すでに人間ドックの助成を申請された方は除く

●持ち物／受診券(桃色)、保険証、質問票、健康手帳(お持ちの方のみ)

●受付時間／9時～11時

問い合わせ
保険年金課 国民年金係
☎65-0745 / ☎63-4618

甲南第三小学校草刈ボランティアを開催

8月17日、宮地区自治振興会では、甲南第三小学校の子どもたちが新学期を気持ちよく迎えられるように、地域の方のボランティアによる学校の草刈作業を実施しました。草刈ボランティアは、同校の先生が広い校庭を大変な思いで草刈をしておられるのを地域の方が見たのがきっかけで始まったもので、今年で3回目を迎えます。



▲草刈作業に汗を流す地域の皆さん

地域市民センター

～荒廃農地の回復をめざす～ 付加価値を付けた生産物で町おこし

●佐山地域市民センター



▶梅から作られた瓶詰め商品

隠岐区では平成25年1月、中高年有志10人で、「恵みの里おき」と命名し、集落内の荒廃農地の回復をめざし、ふる里保全グループを設立しました。ここ数年、同区でも住民の高齢化に加え獣害などで、荒廃が目立った農地で付加価値をつけた生産物を作ることによって、町おこしの一環となるよう立ち上げられたものです。

同グループが栽培しているのは、梅、タケノコ、きのこなど。中でも50アールの農地に植えられた梅は、実からジャムやジュースなどが作られるだけでなく、獣害に遭いにくいことから、農地の保全にも一役買っています。

夏を楽しむサマースクール

●土山地域市民センター

障がいのある児童・生徒を対象に、甲賀市社会福祉協議会が夏休み期間中に実施する「サマースクール」で、土山町の子どもたちが8月17日、老人福祉施設エーデル土山のサマースクールのイベントに参加しました。当日は、雨も心配される天候でしたが、始まる頃には回復し、みんなで作った「はらぺこあむし」の御輿が用意され、手作りのお面をかぶった子どもたちが、江州音頭でやぐらのまわりを元気に踊っていました。参加していた地域の方々との交流も深められ、子どもたちには、にぎやかで楽しい夏休みのひとときとなりました。

～平和を願い ふるさとに感謝して～

●貴生川地域市民センター



▲幻想的な約1500本のろうそく

8月13日夕刻、三大寺の田んぼの真ん中で約千五百本のろうそくに火がともされ、幽玄な雰囲気の中でお祭りが開催されました。地域の皆さんが帰って来られるお盆の時期にあわせて、有志の方で催されるようになったお祭りも今年で6回目になります。イベントステージではサクソスの演奏があり、最後は花火で盛り上がりました。地域外からもうわさを聞きつけて、写真愛好家などたくさんの方が来られていました。貴生川地域では、毎年8月16日に杣川夏まつり・灯ろう流しも行われ、日本の平和とふるさとを自分たちの祖先に感謝することを大切にされています。



▶手作りの神輿でイベントを盛り上げる子どもたち